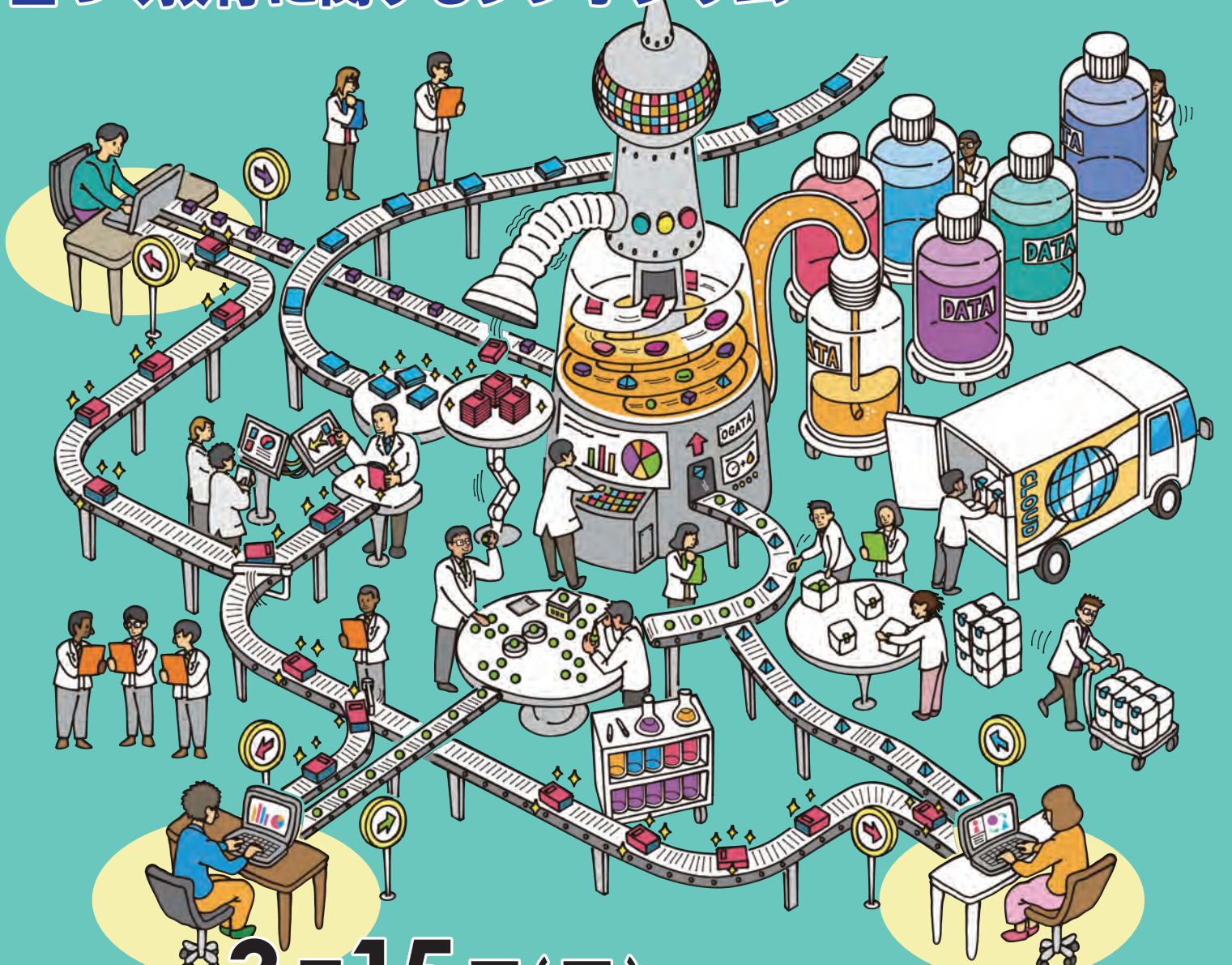


第2回ラーニングアナリティクスによるエビデンスに基づく教育に関するシンポジウム



2020年3月15日(日)

●13:00~17:30 (12:30受付開始)

早稲田大学 早稲田キャンパス

国際会議場 井深大記念ホール

早稲田キャンパス 総合学術センター内 国際会議場1階

Map



WEB... <https://bit.ly/35fZcNE>

参加費...**無料**

定員...**450名(先着順)**

申込締切...**3月10日**

申し込みはこちらから



席に限りがございます。定員を超えた場合、先着順で参加申し込みを締め切らせていただく場合があります。早めの参加申し込みをお勧めします。

プログラム

13:00 開会・趣旨説明

緒方 広明 (日本学術会議連携委員会、京都大学学術情報メディアセンター教授)

13:15 基調講演

美濃 尊彦 (日本学術会議第三部会委員、国立研究開発法人理化学研究所理事) 「教育データの利活用に向けた提言について」

13:45 基調講演

浅野 大介 (経済産業省 商務・サービスグループ サービス政策課長(併)教育産業室長) 「未来の教室と教育データの利活用」

14:15 基調講演

桐生 崇 (文部科学省初等中等教育局初等中等教育企画課学部の先端技術活用推進室長) 「新時代の学びを支える先端技術と教育データの活用」

14:45 休憩

15:00 事例紹介 (各10分)

- 桶見 孝 (日本学術会議連携委員会、京都大学大学院教育学研究科教授) 「スーパーグローバルハイスクールにおける質問紙と学力データを用いた効果測定」
- 松下 佳代 (日本学術会議第一部会委員、京都大学高等教育研究開発推進センター教授) 「学びの履歴を可視化する —e-Portfolioを用いた実践—」
- 菅原 ますみ (日本学術会議連携委員会、お茶の水女子大学基礎研究院教授) 「0歳からの長期的な発達追跡調査の事例報告」
- 浜野 隆 (お茶の水女子大学基礎研究院教授) 「全国学力・学習状況調査における保護者データの活用」
- 佐々木 圭 (京都市教育委員会 事務局担当係長) 「未来型教育の京都モデル実証事業の取り組み」
- 小村 桐子 (京都大学学術情報メディアセンター特定研究員) 「教育ビッグデータ・AIを用いた教育支援の事例」

16:00 パネル討論 (テーマ:教育データの利活用の将来について考える) パネリスト (各10分)

- 柴山 悦哉 (日本学術会議第三部会委員、東京大学情報基盤センター教授) 「教育データの責任ある利用」
- 谷口 倫一郎 (日本学術会議第三部会委員、九州大学大学院システム情報科学研究科教授) 「農業教育におけるラーニングアナリティクスの利用の可能性」
- 前田 香織 (日本学術会議連携委員会、広島市立大学大学院情報科学研究科教授) 「広島市におけるSINET接続による教育連携の枠組み」
- 宮地 充子 (日本学術会議第三部会委員、大阪大学大学院工学研究科教授) 「プライバシーを保護した教育データ解析の可能性」
- 松嶋 敏泰 (早稲田大学データ科学総合研究センター所長、基幹理工学部教授) 「早稲田大学におけるデータ科学研究教育の取り組みとデータ活用プラットフォーム」
- 緒方 広明 「教育データの利活用のための情報基盤システムの枠組み」

17:30 閉会

主催 日本学術会議 心理学・教育学委員会・情報学委員会合同教育データ利活用分科会
 日本学術振興協会 科学研究費補助金 基礎研究(S)「教育ビッグデータを用いた教育・学習支援のためのクラウド情報基盤の研究」
共催 京都大学学術情報メディアセンター
 早稲田大学グローバルエデュケーションセンター、早稲田大学学術総合研究センター、早稲田大学データ科学総合研究教育センター

連絡先 京都大学学術情報メディアセンター 緒方研究室
 [Mail] contact@let.media.kyoto-u.ac.jp
 [TEL] 075-753-9052



京都大学学術情報メディアセンター
 Academic Center for Computing and Media Studies, Kyoto University

